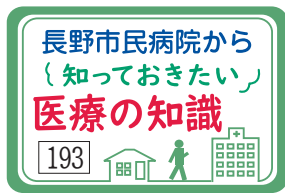




上條 恭佑

日本では、意図しない妊娠が約30%あり、そのうち望まない妊娠は約40%と報告されています。また人工妊娠中絶は2020年度に14万件超（1日に約400件）で、10代では1日に約30件も行われています。



日本で意図しない妊娠のうち人工妊娠中絶に至っている正確な割合は不明ですが、人工妊娠中絶は女性にとつて精神的、身体的、経済的に負担となるため、私たち産婦人科医もできれば避けたい処置です。

72時間以内に服用

こうした意図しない妊娠を防ぐために、性交後72時間以内に内服することで緊急的に妊娠を避けるアフターピル（緊急避妊薬）という薬があります。

アフターピルは、①避妊に失敗した場合

婦人科医長、生殖医療センター医長 専門は婦人科、不妊症

アフターピル （緊急避妊薬）

生理がこない
もしかして…



緊急的に妊娠を避ける内服薬

（低用量ピルの飲み忘れやコンドームの破損など）②性暴力被害など避妊できなかった場合一に内服します。72時間以内に内服した場合の避妊成功率は97%以上で、性交渉から内服までの時間が短ければ短いほど避妊成功率は高くなります。

近年発売されたアフターピルは1回内服するだけでよく、副作用として軽度の吐き気が、ほとんど問題となりません。ただし自費診療となるため、数千円〜数万円の料金がかかる場合があります。また完全に妊娠を防

ぐ薬ではないので、生理が1週間以上遅れた場合は、一度市販の妊娠検査薬で妊娠を確認した方がいいでしょう。

日頃からきちんと

アフターピルはあくまでも緊急的な対応です。「コンドームが破れた」と慌ててアフターピルを内服するのではなく、日頃からきちんと避妊することが大切です。そのためには女性自身で継続的な避妊法（低用量ピル、子宮内避妊器具など）を選択する必要があります。

が、男性の理解と協力（コンドームなど）も必ず必要です。また、緊急避妊薬の処方箋に対応している薬局やオンライン診療をしているクリニックが示されています。もしものときは一人で悩まず、産婦人科にご相談ください。

（おわり）